

一般社団法人全国専門学校情報教育協会(研修委員会)  
令和6年度 研修ニーズアンケート  
教員・職員

●調査時期  
令和6年4月10日～令和6年4月26日

●発送数 68 件(校)

●回答数 37 件

●協力校数 25 校

●回答率 36.8 %

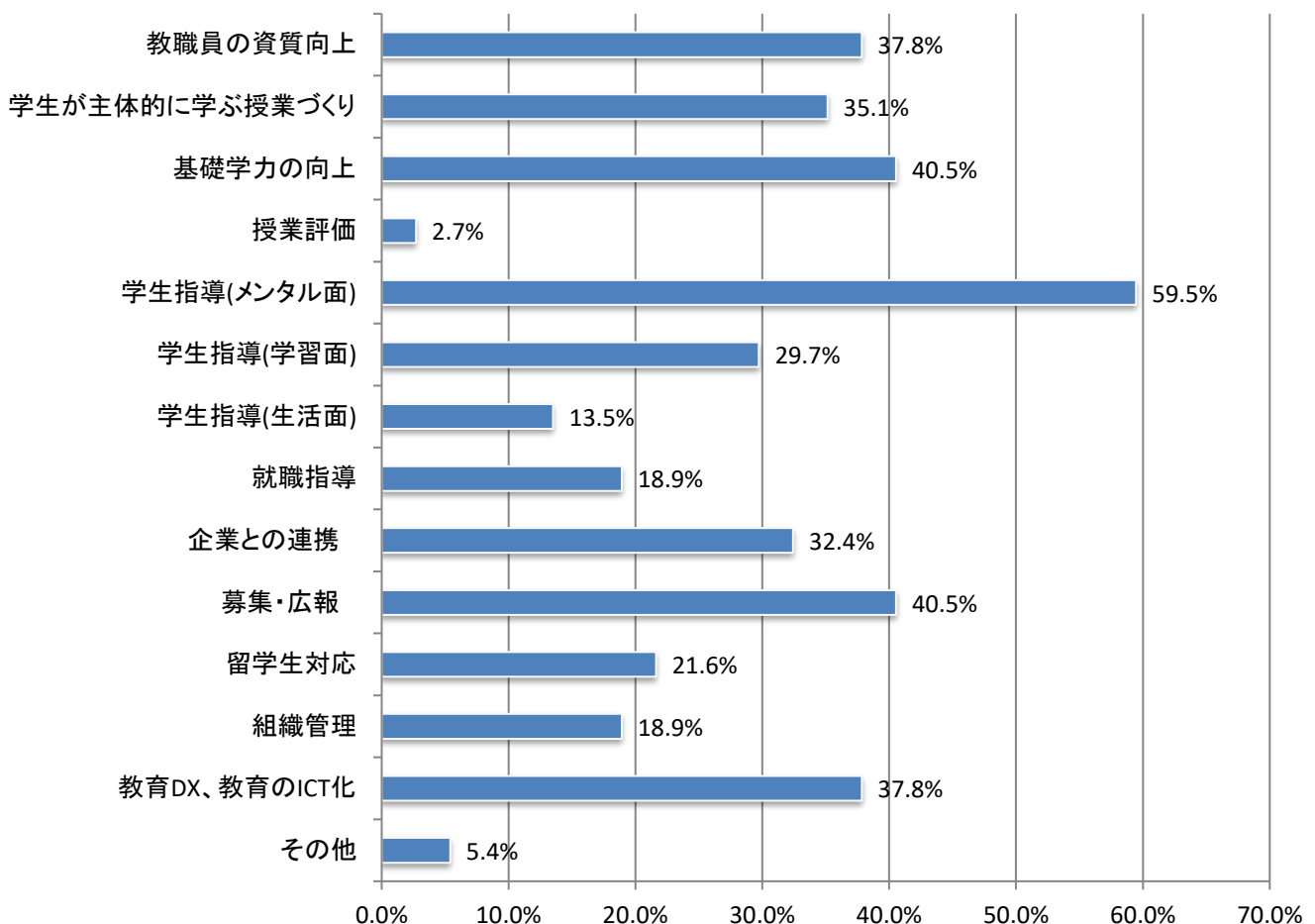
担当されている業務の課題として緊急性の高いと感じているものに○を付けてください。

no	項目	回答	%
1	教職員の資質向上	14	37.8%
2	学生が主体的に学ぶ授業づくり	13	35.1%
3	基礎学力の向上	15	40.5%
4	授業評価	1	2.7%
5	学生指導(メンタル面)	22	59.5%
6	学生指導(学習面)	11	29.7%
7	学生指導(生活面)	5	13.5%
8	就職指導	7	18.9%
9	企業との連携	12	32.4%
10	募集・広報	15	40.5%
11	留学生対応	8	21.6%
12	組織管理	7	18.9%
13	教育DX、教育のICT化	14	37.8%
14	その他	2	5.4%
	合計	146	-

※%の母数は回答者数(=37)、複数回答

【その他の回答】

- ・多様な保護者による教員の対応力の向上
- ・AIに関するリテラシー 教員も学生も同様に新しい技術にどう相對するか
- ・コミュニケーション力不足により、障害者および留学生の就職は難しく課題となっている



問題や課題を解決するために、どのような研修・セミナーがあったら良いと思いますか？

区分	研修テーマ	内容（概略で結構です）	形式	対象	日数	実施時期
教職員の 資質向上	生成AI活用研修	Text-To-Textの生成AIだけでなく、Text-To-Imageの生成AIを学校業務や学生指導に活かすためのノウハウ・テクニックを学ぶ研修	オンライン	教員	1日（5時間～8時間程度）	いつでも
教職員の 資質向上	AIの活用方法	ChatGPTなど、生成AIの使い方と活用方法など	セミナー	教員	1日（5時間～8時間程度）	8月
教職員の 資質向上	IT教育を進めるにあたり、高校での情報教育の現状	高校での情報教育がどのように展開されて、どのように学んできているのか	セミナー	教員	半日（1時間～4時間程度）	夏休みか冬休み期間
教職員の 資質向上	Z世代に向けた教育スタイルについて	Z世代と呼ばれるデジタルネイティブ世代に対して、どのような指導方法や教育方法、どのような機器などの活用が必要であるか	セミナー	教員	半日（1時間～4時間程度）	夏休みか冬休み
教職員の 資質向上	学力差がある中でのIT教育の在り方、進め方	クラスの中で、できる学生からできない学生（極端に）がいる中、両方を満足させる教授法。	セミナー	教員	半日（1時間～4時間程度）	
教職員の 資質向上	生成AI活用	生成AIの活用事例紹介、実習など	セミナー	教員	1日（5時間～8時間程度）	長期休暇（夏休みなど）
教職員の 資質向上	保護者対応に対する教員の資質向上	対応における心構え 対応スキル学習 学校が示す方針の作成例 他校の事例	セミナー	教員	1日（5時間～8時間程度）	8月
教職員の 資質向上	AI技術について	AIに関する基礎知識、今後の展開、活用方法	講義	教員	半日（1時間～4時間程度）	夏季、春季などの学生長期休暇中
教職員の 資質向上	アジャイル開発	アジャイルの概要・学生に実践してもらうためのノウハウの共有。	講義+実習	教員、現場を離れて年数が経過しているIT系教員	1日（5時間～8時間程度）	夏休み等の長期休暇
教職員の 資質向上	Linux基礎	IT系教員が身に付けておくべきLinuxの基礎学習。OSのインストール、WSLの活用など。	実習	教員	1日（5時間～8時間程度）	夏休み等長期休暇
教職員の 資質向上	授業運用方法	ファシリテーターとしてスキル	実習	教員	1日（5時間～8時間程度）	
教職員の 資質向上	新しい教育や学びのコンテンツ	新しい教育方法やその効果などを探索したい	実習	教員、管理職	半日（1時間～4時間程度）	
教職員の 資質向上	AIと教育現場 メリットとリスク	新しい技術として様々な職業にAIが導入されはじめている。AIに懐疑的な視点もあるが、無知なままでは、結果的に時代のニーズに合致する教育ができないのではないか。AIとは何か、何ができて何ができないか またこれからどう社会にインストールされていくのか？学生に何を伝え どんなリスクがあるのか 皆で学び合う	専門家による講義 事例紹介 教員間の情報共有など	教員、職員、管理職	2日間	長期休暇中など
教職員の 資質向上	クラス運営指導	入学から卒業まで退学者を出さないクラスマネジメント研修	ディスカッション形式	クラス担任	2日間	冬

区分	研修テーマ	内容（概略で結構です）	形式	対象	日数	実施時期
基礎学力の向上	基礎学力の向上	中・高教員に対する学生指導研修	ワーク・演習	中・高教員		
基礎学力の向上	学生の基礎学力低下対応	具体的な授業の実施方法、こころがける点など	講義	教員	半日（1時間～4時間程度）	夏休み
学生が主体的に学ぶ授業づくり	学修意欲を引き出すには	やる気を引き出すための授業計画	セミナー	教員	1日（5時間～8時間程度）	8月～9月（夏休み時期）
学生が主体的に学ぶ授業づくり	学生が主体的に学ぶ授業について	どのような手法であれば、学生が主体的に行動してくれるかなど	セミナー	教員	1日（5時間～8時間程度）	長期休暇期間
学生が主体的に学ぶ授業づくり	学生のやる気を引き出す方法	学生のやる気を引き出す方法（実際の事例を交えて）	セミナー	教員	半日（1時間～4時間程度）	
学生が主体的に学ぶ授業づくり	アダプティブラーニング研修		講義	教員	1日（5時間～8時間程度）	8月（夏休み時期）2月（春休み時期）
学生が主体的に学ぶ授業づくり	学生のやる気上げる方法	主体性や自主性が乏しい学生のやる気を出す方法	講義	教員	1日（5時間～8時間程度）	
学生指導（メンタル面）	基礎学力向上のための指導法、学生のメンタルと指導法		セミナー	教員、職員、管理職	半日（1時間～4時間程度）	長期間中
学生指導（メンタル面）	精神的病を抱える学生の対応	精神的病を抱える学生に対し、教員としてどう対応していくのがよいか。	セミナー	教員、職員、管理職	半日（1時間～4時間程度）	
学生指導（メンタル面）	学生のメンタルケア・カウンセリング方法	メンタルの弱い学生や、鬱などを持つ学生へのメンタルケアの方法、カウンセリング方法のレクチャー	講義	教員	2日間	夏休み期間
学生指導（メンタル面）	学生指導メンタル	いつの時代も変化する子供たちの環境や思考の変化によるメンタル対応と修正力を持たせる学びとは？というニュアンスや海外の若者達との比較から見えてくる日本の未来の姿から不可欠な人材育成とメンタルの持ち方？とか、多様な時代こそその学生達との向き合い方や導き方のような内容は？というニュアンスの内容は如何かと思いました。	講義	教員、職員、管理職	2日間	夏休み等
学生指導（メンタル面）	マインドフルネス	学生のメンタルをサポートするために、教職員ともにマインドフルネスを学ぶ必要があると思います。	実習	教員、職員、管理職、経営者	1日（5時間～8時間程度）	慌ただしくない時期
学生指導（メンタル面）	多様化社会の中で特性を持つ学生の指導方法 保護者との連携	多くの教育機関への入学者の中にある程度の割合で、障害や特性を持つ学生がいる。指導者や管理者はどのような知識を持つ必要があるのか。福祉や医療との連携が必要なのか。また、保護者との関係性 情報共有をどのように行い、どれくらいの距離をもって対応するのか	専門家からの講義と事例紹介 参加者のディスカッション	教員、職員、管理職	2日間	長期休暇

区分	研修テーマ	内容（概略で結構です）	形式	対象	日数	実施時期
就職指導	多様化する働き方と学生へのキャリア指導	専門学校では、「就職指導」を中心に行ってきたが、職業に対する考え方も変化し、働き方も多様化している。終身雇用意識が薄れ、転職やキャリアアップへの抵抗も減ってきている。厚生労働省からキャリアカウンセラー有資格者を増やす方針が出されるなか専門学校の就職指導 キャリア指導をどのように行ったらいいか また数年後をふまえ、どのようなマインドセットを指導者は必要とされるのか	専門家からの講義と参加者間のディスカッション事例紹介	教員, 職員, 管理職	2日間	長期休暇中
就職指導	就職指導	担任として学生のキャリア指導や興味に合わせて効果的なアドバイスの研修	事例発表・ディスカッション	クラス担任	2日間	秋
募集・広報	募集活動について	魅力的なオープンキャンパスの内容など	セミナー	教員, 職員, 管理職	2日間	秋ごろ
募集・広報	snsの活用法と注意点	snsの活用法と注意点	講義	教員	半日（1時間～4時間程度）	
募集・広報	学生募集業務効率化	資料請求のとりまとめ合理化、統計データ算出と集計分析、募集活動への活用	講義	管理職	1日（5時間～8時間程度）	8月
留学生対応	IT企業における留学生採用について	売り手市場と呼ばれているなかでも留学生採用に対しては大きく変化が無い状況であるため、企業や産業界ではどのように留学生に対して考えており、どの水準があれば採用できるのかなど、採用にした例や不採用にした例などをお聴きしたい	セミナー	教員, 職員	1日（5時間～8時間程度）	夏休みや冬休み
留学生対応	留学生対応	留学生に対する対応の事例紹介など	セミナー	教員, 職員, 管理職	半日（1時間～4時間程度）	長期休暇（夏休みなど）
留学生対応	留学生、高度外国人材育成プログラムによる国際社会競争力に追いついていける日本の課題、専門学校の役割と未来について	技能実習生、特定技能者という学生募集枠、人手不足対策にとどまらず、グローバル社会に向けてスタートアップ企業人材育成の教育システム作りと業界に繋げる架け橋となる専門教育の構築による大学機関に劣らない先進的学びの講習等	講義	教員, 職員, 管理職	2日間	夏休み等
教育DX、教育のICT化	教育DX	学生向けデジタル教材の活用	セミナー	教員	半日（1時間～4時間程度）	12月
教育DX、教育のICT化	現場教員むけ、DX教育法	教育をいかに簡略に分かりやすく伝えるためのDX教育法	セミナー	教員, 職員, 管理職	1日（5時間～8時間程度）	
教育DX、教育のICT化	校務の効率化（DX）	アナログな業務を効率的に実施できる手法、ツール	セミナー	教員	半日（1時間～4時間程度）	長期休暇（夏休みなど）
教育DX、教育のICT化	学校のDX化推進	本校ではなかなかDX化が進行しない。授業への導入の前に、職員室 教務課 総務課など 学校運営側のDX化がはかれない。他校の事例 DXのメリットデメリット セキュリティなどのリスク 必要予算など	講義	教員, 職員, 管理職	1日（5時間～8時間程度）	長期休暇

区分	研修テーマ	内容（概略で結構です）	形式	対象	日数	実施時期
教育DX、 教育のICT 化	教育DX	教務事務のDX化	講義	教員，職員	半日（1時 間～4時間 程度）	

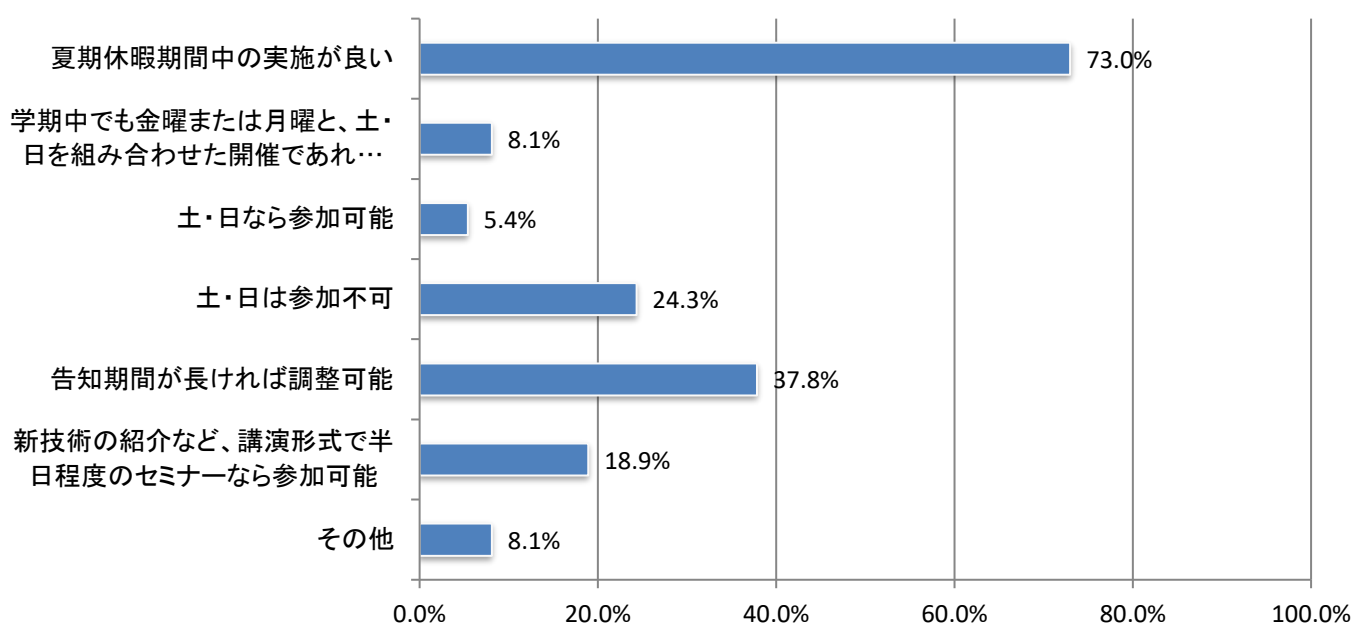
対面・研修会場で実施する研修会について、以下設問にお答えください。

パソコン等を用いた演習や、グループディスカッションを伴う研修は、2～3日を要するものが多くなります。実施時期・日数などについて当てはまるもの全てに○を付け、ご意見等をお書き添えください。

### ・研修時期について

No	項目	回答	%
1	夏期休暇期間中の実施が良い	27	73.0%
2	学期中でも金曜または月曜と、土・日を組み合わせた開催であれば可	3	8.1%
3	土・日なら参加可能	2	5.4%
4	土・日は参加不可	9	24.3%
5	告知期間が長ければ調整可能	14	37.8%
6	新技術の紹介など、講演形式で半日程度のセミナーなら参加可能	7	18.9%
7	その他	3	8.1%
合計		65	-

※%の母数は回答者数(=37)、複数回答



### ◆その他

オンライン開催であれば、平日夕方が良いです。

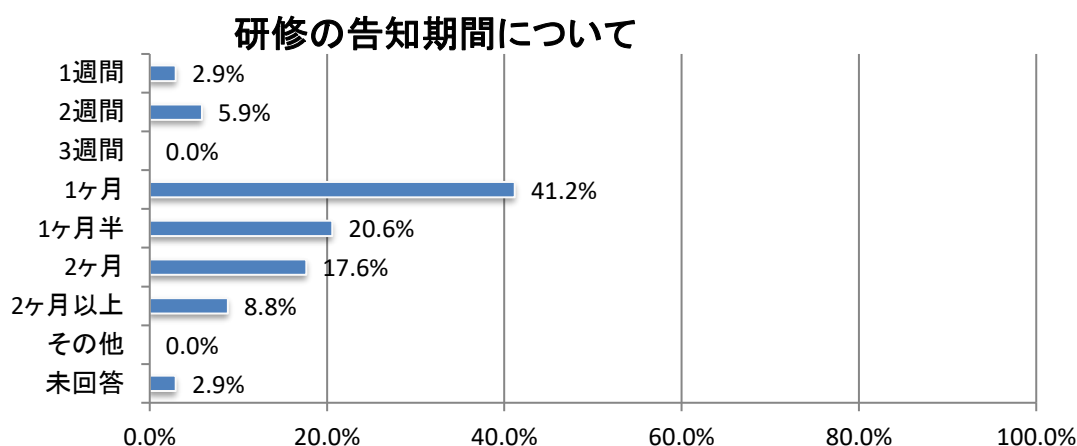
特に指定はないが、一つのセミナーにかんしても複数回実施など、選択肢があればありがたい授業の無い期間

### ・夏期休暇期間

7月中旬～8月中旬	7/22～8/23 うち8/10～8/18は、一斉夏期休暇
7月末～8月末	7月20日～8月末
7月末～8月中	7/22～8/31
7月20日～8月末	7月24日～8月30日
7月下旬～8月下旬	7月24日(水)～9月13日(金)
8月上旬から中旬	7月25日頃から8月25日くらいの前夜
8月上旬から下旬	7月29日～8月30日
8月上旬から9月上旬	7月31日～9月20日
8月	7月31日～9月23日
お盆前後	8/10-8/31
	8月19日～9月20日

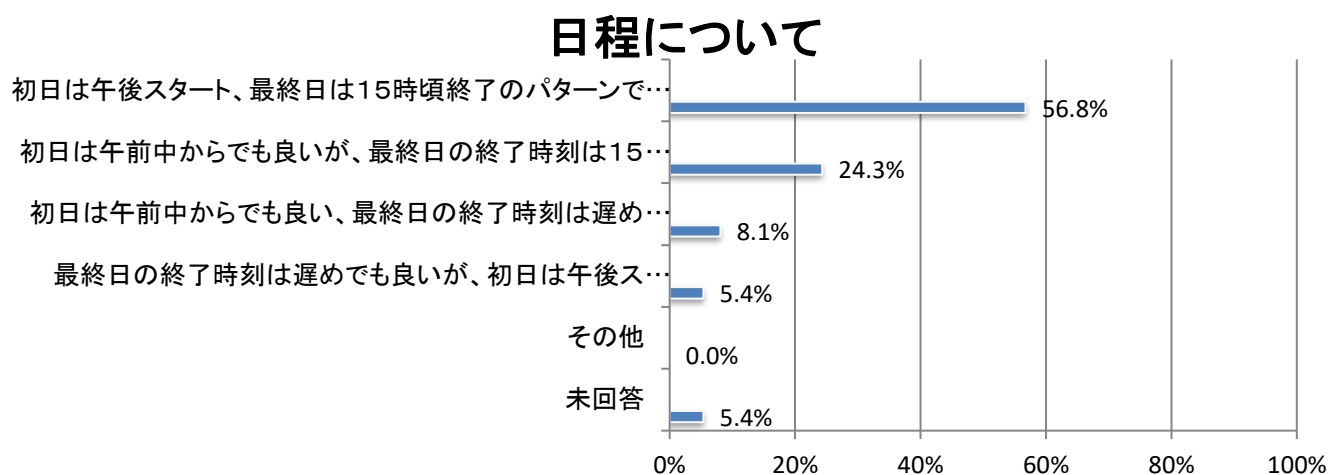
## ・研修の告知期間について

No	項目	回答	%
1	1週間	1	2.9%
2	2週間	2	5.9%
3	3週間	0	0.0%
4	1ヶ月	14	41.2%
5	1ヶ月半	7	20.6%
6	2ヶ月	6	17.6%
7	2ヶ月以上	3	8.8%
8	その他	0	0.0%
9	未回答	1	2.9%
合計		34	-



## 日程について

No	項目	回答	%
1	初日は午後スタート、最終日は15時頃終了のパターンでよい	21	56.8%
2	初日は午前中からでも良いが、最終日の終了時刻は15時頃終了が	9	24.3%
3	初日は午前中からでも良い、最終日の終了時刻は遅めでも良い	3	8.1%
4	最終日の終了時刻は遅めでも良いが、初日は午後スタートが良い	2	5.4%
5	その他	0	0.0%
6	未回答	2	5.4%
合計		37	-

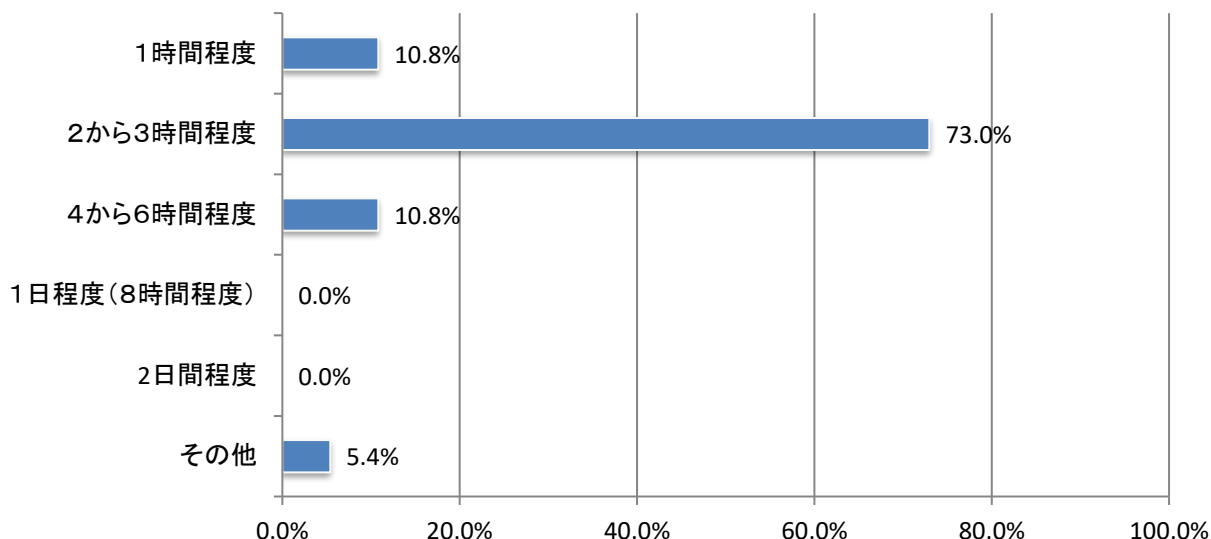




## オンラインの研修会について

### ・オンライン研修会の時間は、1回あたりどの程度の時間が良いと思いますか

No	項目	回答	%
1	1時間程度	4	10.8%
2	2から3時間程度	27	73.0%
3	4から6時間程度	4	10.8%
4	1日程度(8時間程度)	0	0.0%
5	2日間程度	0	0.0%
6	その他	2	5.4%
合計		37	100.0%



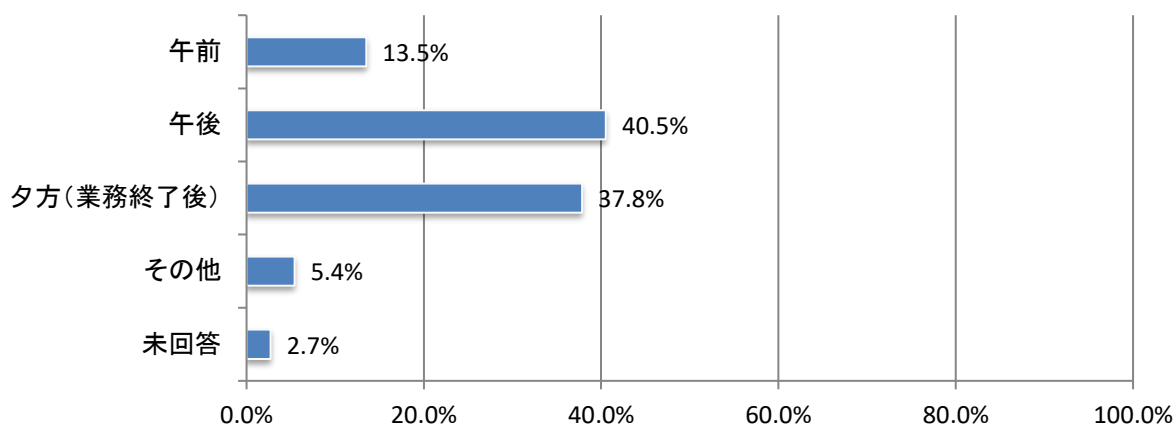
#### ◆その他

内容により、設定頂ければ問題ない

オンデマンドは1時間程度、ライブであれば長時間でも可

### ・リアルタイムでオンライン研修に参加する場合、受講に都合のよい時間はありますか

No	項目	回答	%
1	午前	5	13.5%
2	午後	15	40.5%
3	夕方(業務終了後)	14	37.8%
4	その他	2	5.4%
5	未回答	1	2.7%
合計		37	100.0%



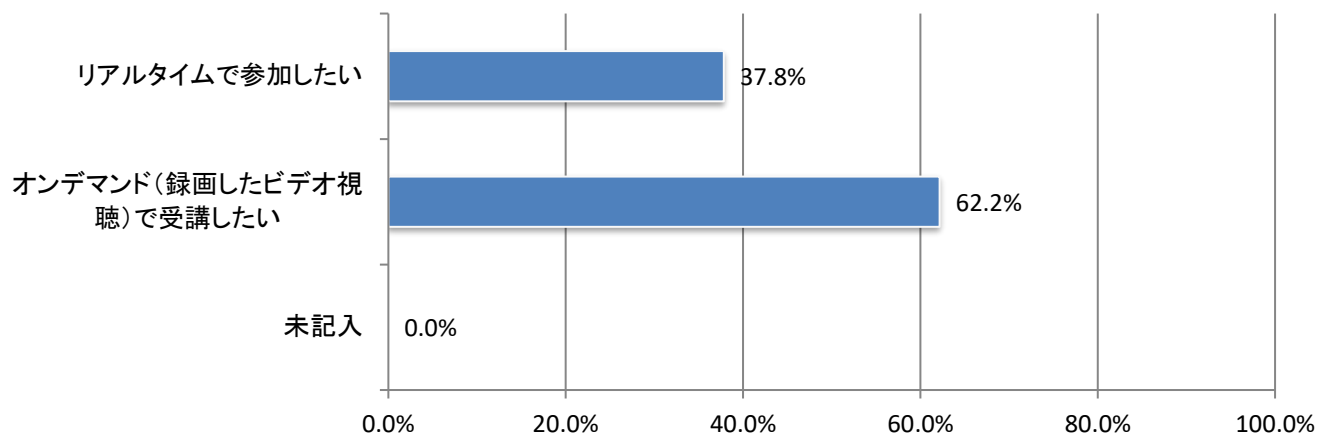
#### ◆その他

授業のない時間帯

前もってアナウンスが得れば調整可能

## ・オンライン研修会の受講形態

No	項目	回答	%
1	リアルタイムで参加したい	14	37.8%
2	オンデマンド(録画したビデオ視聴)で受講したい	23	62.2%
3	未記入	0	0.0%
合計		37	100.0%



### 理由

#### ・リアルタイムで参加したい

- 質問等があった際にすぐに回答を得られるため
- 録画は結果として見ないケースが多い
- 質問等の対応に都度対応をしていただきたいため
- リアルタイムで質問ができるから
- 録画だと後回しになりそうなので
- 業務の一環として参加させたいため
- 聴講だけでなく、体験型実習なども受けてみたいため

#### ・オンデマンド(録画したビデオ視聴)で受講したい

- 業務調整が出来ない場合がある為
- 参加時間が都合に合わせられる
- オンデマンドの方がより自分の都合の良い時間に受講可能だから。
- 授業時間の関係で会場が遠方の場合は都合がつかない場合が多い
- 日程調整が難しい
- 授業がない時間に受講できる
- 時間に都合がつけやすい
- 時間調整が容易になるため
- スケジュール調整が難しい時がある為、オンデマンドなら視聴しやすい
- 時間の調整がつかなかった場合、または連続した時間が取れない場合に有効。
- どちらでもよいが、移動のロスが無いいためオンラインがより効率的に感じます。
- いつでも受講できる

職業実践専門課程の設置・運営について、現在困っていることや、抱えている問題・課題等がございましたらお書きください。

- ・ 企業連携先との調整
- ・ 様式の取りまとめ
- ・ クリエイター系の専門知識の研修
- ・ IT系分野で実践的な連携が難しい。連携の候補となる企業が地域柄乏しく、企業側へのメリットが提供しにくい。
- ・ 募集。定員充足など。
- ・ 委員の方々のスケジュールリングが難しい
- ・ 連携企業や業界団体を見つける事、連携授業の実施
- ・ 第2回委員会は人事の繁忙期なので、委員の皆様の日程調整が大変
- ・ 企業連携でインターンシップ等の設定がなかなかできない 別の方法があれば知りたい
- ・ 企業連携の意識が教員によって差がある。各教員が積極的に企業と関わってってもらいたい。
- ・ 書類作成など煩雑になる

生成AIの授業への活用、学校・教務業務への活用、学生の利用等について、現在の取組状況、抱えている問題や課題等がございましたらご記入ください。

- ・ 職員へのリテラシー普及。基礎教育のやり方
- ・ クリエイター系は生成AIで作成した課題提出など、どの様に対応しているか知りたい
- ・ 教職員間の利用格差、学生の安易な利用
- ・ 活用についてというよりは、どのように使うのが効果的かという利用の利点や悪用を防ぐ規制・規定などの示し方が課題である
- ・ 分かりません
- ・ AIリテラシーを全員学生が受講しています。
- ・ 生成AIを活用した授業方法や法的に気を付けるべき事などの判断が難しいと考えており、授業への活用がなかなか出来ていない
- ・ プログラミングのサポートとして使うのは良いが、生成したソースコードが読めないまま使うと就職したときに困りそうなので散々注意しているが治らない。
- ・ どこまでAIに頼っていいのかの線引きが難しい
- ・ 使用可否やレベル設定が科目によりまちまち
- ・ 利用方法を教えているが、現在はこれといった問題は起きていない。活用方法の事例があれば知りたい。
- ・ 学生が生成AIを利用して課題を提出
- ・ 本校はデザインの専門学校で、学生が生成AIを使用して作成した作品 文章などと独自に作成した作品の判別が難しい。今後デザイン作成業務にも活用されていくことが考えられるが、学生にどのような指導をしたら良いかルール作成をする方がいいのか もしルールを策定するのであればどのようなものがフェアか
- ・ 学生の利用率は上がってきていると思う。課題点は今後可視化してくると思うが現在は様子を見ている感じである
- ・ AIの活用までは現在行ってはいない。が、履歴書等の志望動機などには気をつけている。
- ・ 制作物の中に生成AIで作られた作品があれば(自己申告したもの)、評価対象としていいかどうか不明。
- ・ 生成AIに関しては未だに運用はしていません。運用の事例などあれば教えて頂きたいです。

学校評価(自己評価・学校関係者評価・第三者評価)及び情報公開について、抱えている問題・課題等がございましたらご記入ください。

- ・ 学校関係者評価の適切な運営方法
- ・ 開催日時の調整が難しい。

- ・他校などの情報が無い中での評価であるため、どこまでが信用されているのか考えてしまう
- ・とりまとめや集計が煩雑になる
- ・想定していたガラス張りでありますからしっかりと向き合っていくことかと思う
- ・現在は特には無いが、今後何か出てくるかもしれない
- ・情報公開に関する事務作業の煩雑さ

教育DX、教育のICT化について、現状の取組み、困っていることや、抱えている問題・課題等がございましたらご記入ください。

- ・議事録の文書化など取り組んでいるがまだ途中である。
- ・学生の情報リテラシー能力
- ・経営資源(資金、人材など)の投入が消極的すぎる。
- ・リソース不足による対応の遅れ
- ・出欠席管理など、退学抑止の取組み
- ・デジタル化を推進する考えを持つ教職員とそうでない教職員がおり、学校全体でのDX化が停滞気味である。
- ・電子の教科書などツールを変更したいが、教える側(教員)の準備が追い付かない
- ・導入に向けての設備費の高さ、ネットワーク利用が増大するための設備更新などの費用の負荷が大きい。
- ・もっとペーパーレス化できたらいいと思う
- ・オンデマンド教材を導入
- ・コストを抑えて効率的に使えるものがあれば知りたい。使える者とそうでない者の格差が大きい。

- ・学校全体のWIFIの弱さ 通信環境の強化が必要

本校は比較的アナログな状況 環境かと思うが、教員各々で独自にSlackを導入したり、グループLineを作成したり また学校運営側でも一定のまとまりや方針がないままに崩しに各教員が個々でデジタルツールやグループウェアを導入してしまう

- ・確実に進む方向性なので積極的に取り入れ対応して行くというスタンス
- ・具体的に、どのようにすれば道筋がよくわからない。
- ・3D CADの導入において、システムの管理費導入金額が高額である為、なかなか踏み切れない。今後の就職(パターンナー)には必要なスキルになるのは明確。
- ・生成AI同様に取組みが出来ていない状況です。事例等があれば知りたいです。

前述の他に、現在困っていることや、抱えている問題・課題等がございましたらお書きください。(どんな些細なことでも結構です。)

- ・情報セキュリティ対策の強化、およびインシデントに備えた保険への加入

新しいことと古いことが混在していて結局二度手間三度手間が発生している現状。ペーパーレスをうたうもなりきらない、印鑑や回覧の習慣も残っている、クラウド上にデータはあるのに毎回印刷した紙が全員に配られる(必要な人だけ自身の判断ですればいい)、部署によってもデジタル化の状況が違うため何か所にも同じデータを入れなければならない違和感を覚える。年齢でもそれらの得意不得意があるので仕方ないと思うが、IT化スマート化を進めるほど結果的に仕事が増えているため迷惑。

- ・単位制を考える中で、制度をどのようにとらえ何の作業から行えば良いのか？困っているというか、困惑している。
- ・定期的な教員の指導力向上に向けての研修や機会が無い事
- ・学校業務のDX化が遅れている。
- ・学生へのキャリア指導 教員間のまとまり 方針策定とその共有 教員の意識とスキルの向上とチームマネジメント
- ・学生の「授業を受けなければ」という考え方を「授業を受けたい」に変えたい。各学生のペースで学習できる新しい授業スタイルが求められていると考えています。
- ・モンスター的な保護者対応が増えてきている。